

北九州港のプロモーション活動



北九州市港湾空港局

北九州港のプロモーション活動

- 1 ポートセールスについて
- 2 クルーズ船誘致について
- 3 広報活動について

北九州港のプロモーション活動について

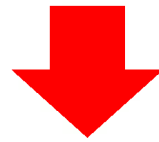
1 ポートセールスについて

充実した物流拠点



ポートセールスとは

- 【目的】 北九州港の認知度向上、利用促進(集貨・創貨・航路誘致)
- 【対象】 荷主(メーカー、商社等)、船会社、物流事業者
- 【手法】 企業訪問、HP等による情報発信、プロモーション(セミナーなど)



<目的別のアプローチ>

目的	対象	働きかけ
集貨・創貨	荷主	外国貿易(輸出入)や国内間輸送に北九州港を利用してもらう
航路誘致	船会社	地元企業等が必要としている新しい航路を開設してもらう

具体的な事例：官民一体によるポートセールス

「北九州港航路集貨対策委員会」

北九州港における航路誘致及び集貨の促進を目的とした国内外におけるポートセールス活動を、官民が一体となって効果的に行うために、平成15年度に設立。

北九州港の活性化と国際貿易港としての地位向上に寄与すべく、新たな物流需要の開拓を目指した事業を行うもの。

■ 委員会の構成

- ◇会長 港湾空港局長
- ◇副会長 関門港運協会会長、小倉地区港運協会会長、洞海港運協会会長、八幡港友会会長
- ◇幹事 北九州港に関係する港運・代理店等(11社)
- ◇会員 北九州市、北九州港振興協会、各港運協会をはじめ、港運事業者、船舶代理店、荷主企業、海事関係団体など、地元の関係者など約100社

■ 主な事業

- ① 北九州港セミナー (大都市開催：船会社・荷主企業向け)
- ② 北九州港物流セミナー (地元開催：地元企業向け)
- ③ その他

北九州港セミナーの開催（本社機能のある首都圏開催）

北九州港セミナー in 東京

- ・開催日 令和元年10月31日
- ・参加人数 580名
- ・開催場所 経団連会館
- ・内容
 - 【第1部】 日産自動車九州の講演
北九州市の紹介
北九州港の最新事情紹介
 - 【第2部】 ビジネス交流会

- ※ 令和2年度はコロナ禍のため中止
- ※ 令和3年度はWEBによるプレゼンテーション動画配信
- ※ 令和4年度は10月25日開催予定



北九州港セミナーの開催（関西圏国内フェリー利用促進）

北九州港セミナー in 大阪

- ・開催日 令和4年7月20日
- ・参加人数 100名
- ・開催場所 ウィアール大阪
- ・講演 北九州市港湾空港局
大阪港湾局
阪九フェリー
名門大洋フェリー

- ※ 市外では3年ぶりの対面式開催
- ※ 大阪港湾局と初の共同開催（相互開催）
- ※ 新型コロナウイルス感染症対策として、
入場人数制限、飲食を伴う懇親会
の取り止めにより開催
- ※ 8月に「大阪みなとセミナーin北九州」
（参加人数80名）



北九州港物流セミナーの開催（市内開催）

北九州港物流セミナー

- ・開催日 令和4年2月14日
- ・参加人数 67名
- ・開催場所 北九州国際会議場
- ・講演 北九州市港湾空港局
マルエーフェリー
東京九州フェリー
- ・港湾視察 ※いずれかのコースに参加
(門司コース) 太刀浦コンテナターミナルほか
(若松コース) ひびきコンテナターミナルほか

※ 地元及び近隣自治体に所在する企業を
対象としたセミナー・視察会
(荷主企業、物流関連事業者)



PR事業・海外ポートセールス

北九州港PR事業

- ・北九州港を紹介するPRツールとして、パンフレットやノベルティグッズ等を作成
- ・パンフレットは行政だけでなく、民間企業が行うセールスツールとしても活用



海外ポートセールス

- ・官民の参加によるミッション団を編成し、主にアジアの港湾都市を訪問
- ・北九州港の利用可能性のある船会社や荷主企業に対してセールスを実施
- ・先進港湾施設の視察を兼ねる

※主な訪問実績：タイ・ムチャバン、中国・大連、
バトナム・ハイフォン、中国・太倉、台湾・台北ほか
※コロナ禍のためR2～4年度は中止



コンテナ航路・荷主企業向けインセンティブ

船会社・代理店向け

補助メニュー	内 容	単 価
航路拡充補助（ひびき）		
新 規 航 路	○新たに開設する外航定期コンテナ航路 ※1年目全量補助	≪コンテナ（実入り）≫ ・輸出：2,500円/TEU ・輸入：5,000円/TEU
既 存 航 路	○補助対象となった航路で、 <u>補助対象期間の属する年度の前年度より寄港を継続する航路</u> ※2年目以降の貨物純増分に対する補助	
空コンテナ補助（ひびき）		
空 コ ン テ ナ	○空コンテナを取り扱う新規寄港及び既存航路 ※2年目以降の貨物純増分に対する補助	≪空コンテナ≫ ・輸移入：2,000円/本
航路拡充補助（太刀浦）		
新 規 国	○ <u>新たな国との間で寄港を開始する外航定期コンテナ航路</u>	≪1寄港当たり補助額≫ ※総トン数により10万円～40万円（26寄港まで）
新 規 船 社	○ <u>新たな船社が開設する外航定期コンテナ航路</u>	

コンテナ航路・荷主企業向けインセンティブ

荷主企業向け

補助メニュー	内 容	単 価
集貨拡大支援補助		
新 規 貨 物 (ひ び き CT)	○ <u>新たにひびきCTを利用するコンテナ貨物</u> (継続的に利用が見込まれる貨物) ※1年目全量補助、次年度以降純増分を補助	《新規貨物》 ・ 輸出：2,500円/TEU ・ 輸入：5,000円/TEU
転 換 貨 物 (ひ び き CT/ 太 刀 浦 CT)	○ <u>他港利用の貨物を北九州港利用に転換するコンテナ貨物</u> (継続的に利用が見込まれる貨物) ※1年目全量補助、次年度以降純増分を補助	《転換貨物》 ・ 輸出：2,500円/TEU ・ 輸入 門 司：2,500円/TEU ひびき：5,000円/TEU
トライアル支援補助		
ト ラ イ ア ル 貨 物 (ひ び き CT/ 太 刀 浦 CT)	○ 新たに北九州港利用の <u>トライアル輸送を行うコンテナ貨物</u>	《コンテナ（実入り）》 ・ 20FT：13,000円/本 ・ 40FT：21,000円/本 ※1荷主：上限50万円

RORO航路・荷主企業向けインセンティブ

船舶代理店(船会社)・荷主向け

補助メニュー	内 容	補助額
RORO航路就航支援		
新規航路 (船社向け)	○新たに就航する国内・国際RORO航路を対象に、入港料・岸壁使用料を補助 ※新規航路開設後、3年に満たない航路が対象	《入港料・岸壁使用料》 ・1年目：50% ・2年目：30% ・3年目：20% 相当額 ※1社：上限500万円
RORO貨物トライアル		
新規航路 (荷主向け)	○上記新規航路を利用し、利用港を他港から転換した貨物輸送トライアル補助	《転換港から50km未満》 ・20FT以下：6,000円/台 ・20FT超：8,000円/台 《転換港から50km以上》 ・20FT以下：13,000円/台 ・20FT超：21,000円/台 ※1荷主：上限50万円

ポートセールスの実績

年間300件以上の実績

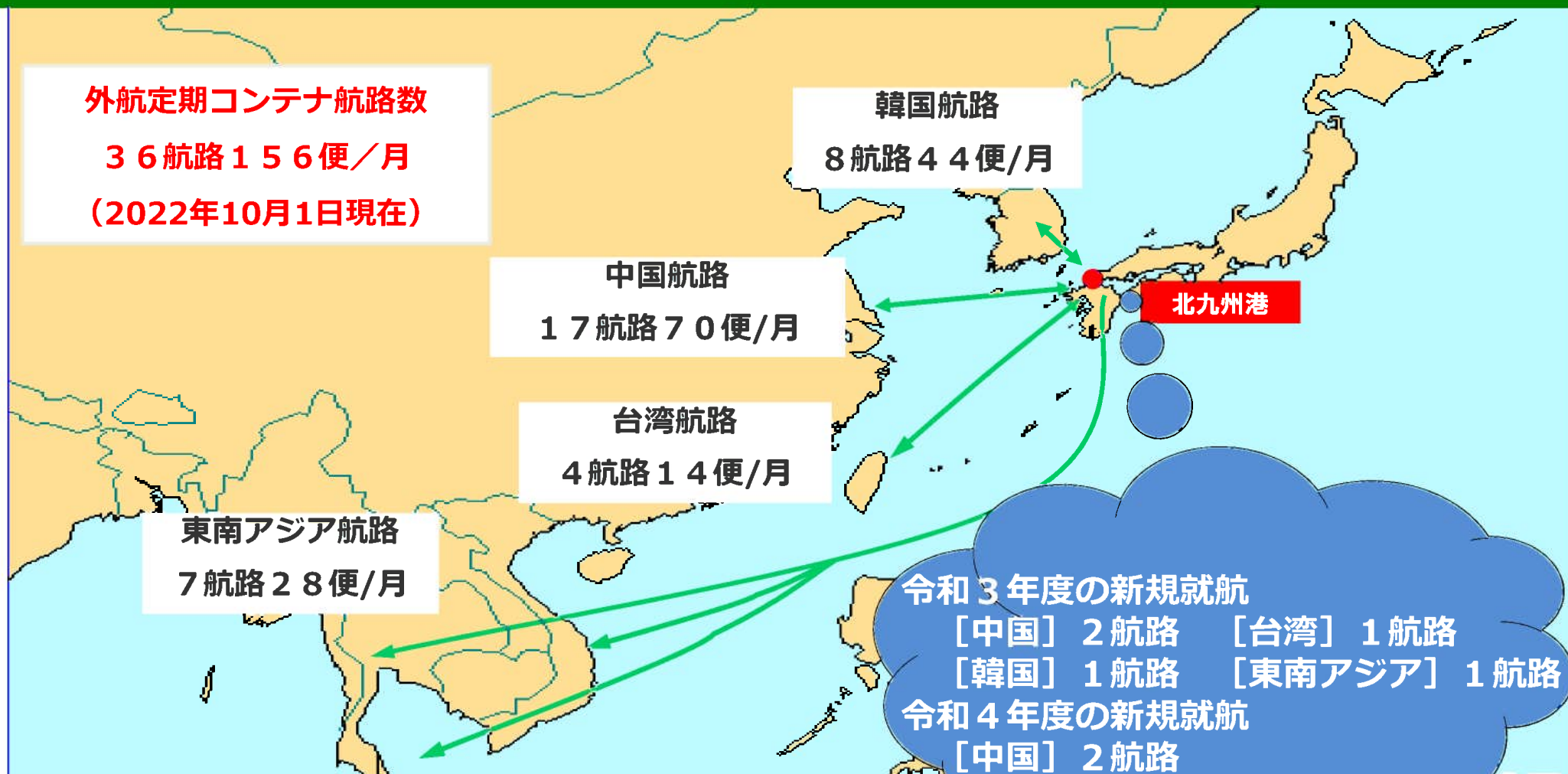
対象企業(延件数)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
荷主等	297	175	196
船会社等	218	98	147

集貨・創貨

航路誘致

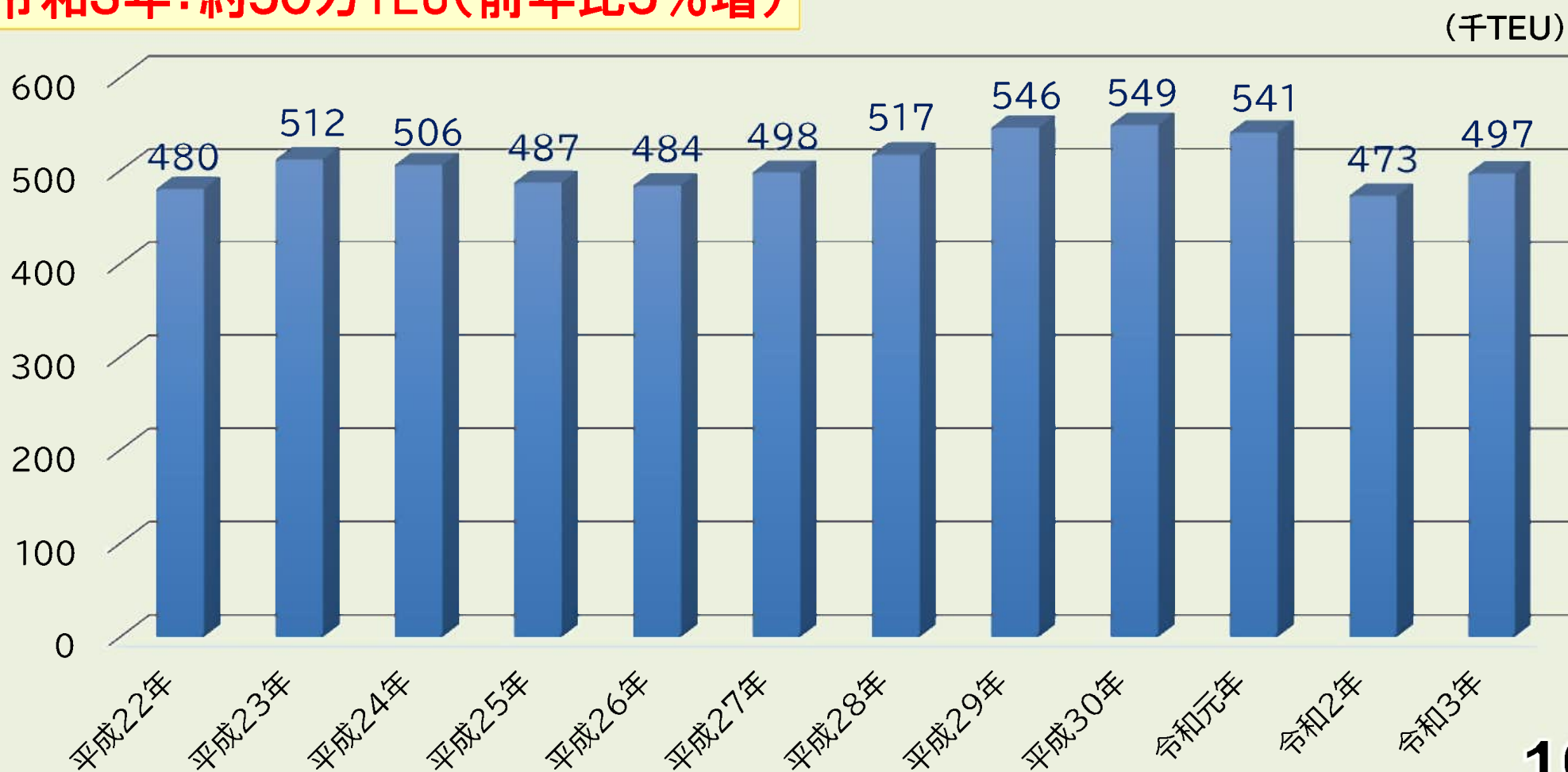
北九州港の利用促進へ

アジアをダイレクトに結ぶコンテナ航路網



北九州港のコンテナ貨物取扱量の推移（暦年）

令和3年：約50万TEU（前年比5%増）



ポートセールスで訴えること

- ・アジアに近い地理的優位性
- ・ものづくり産業の集積
- ・陸・海・空の充実した物流基盤
- ・豊富なコンテナ航路
- ・西日本最大の
内航フェリー拠点
- ・カーボンニュートラルの取組み
- ・風力発電産業の総合拠点化
- ・魅力ある観光資源(門司港レトロ)

北九州港の強み

官民一体となってプロモーション活動を展開